

ネアカヨツメハネカクシ兵庫県下からの記録 (兵庫県甲虫相資料・171)

高橋 寿郎

1986年5月8日美嚢郡吉川町奥山の池畔で蜂谷幸雄氏が水棲昆虫を採集中池畔の草叢から1頭のハネカクシを採集された。貰い受けて帰宅後調べて見たらネアカヨツメハネカクシ *Lesteva plagiata* Sharp であった。このハネカクシは Sharp が 1889年 Yokohama, Oyayama, Miyanoshita を原産地として記載された種であり (Ann. Mag. nat. Hist. (6) III, p. 472), 北海道, 本州, 佐渡島, 四国, 九州に広く分布している種で通常河原や溪流際の石の下や落葉下から採集されているといわれている。それ程珍しい種ではないようであるがどうしたものか兵庫県下からの記録が全く見当らなかった。従って今回のものは兵庫県下から初めての記録になる。

この *Lesteva* 属の日本産ハネカクシは柴田泰利氏によると (日本産ハネカクシ科目録 I. pp. 113-115, 1976) 5種いることが知られていてその内2種が Cameron により神戸産で記載された種である。即ち *L. lewisi* Cameron (Ent. mon. Mag., 66:182, 1930) (Kobe, Shinowara)。 *L. persimilis* Cameron (Ent. mon. Mag., 66:182, 1930) (Kobe)。この2種はその後兵庫県下からの記録が全くない。否日本からの記録も見当らない。どの様な種なのか再調査をしなくてはいけないと思う。また *L. fenestrata* Sharp フタモンヨツメハネカクシは阪口浩平, 沢田高平両博士によって神戸市御影産で原色図説されている (原色日本昆虫図鑑, 増補改訂版, pl.14, f. 267, p.50, 1955)。こちらも水辺, 石下, 草間に棲息すると記されているが県下からこれ以外記録が無い。どうもこの *Lesteva* 属のハネカクシは水辺, 石下, 落葉下に棲息しているグループの様なのであるがその生態に就いては良くわかっていない点が多々ある。渡辺泰明・永井正樹両氏は新潟県の護摩堂山で岩の裂け目で集団死亡をしていた例を報告しておられる (甲虫ニュース №17-18, p.7, 1974)。

尚ネアカヨツメハネカクシは中根猛彦博士の原色昆虫大図鑑Ⅱに *Lesteva fenestrata* Sharp フタモンヨツメハネカクシ (pl.42, f.2, p.83, 1963) としてカラーで図説された後1978年の追補・正誤表で *L. plagiata* に訂正された (p. 4)。1985年渡辺泰明氏もカラーで図説しておられる (原色日本甲虫図鑑Ⅱ, pl.47, f.5, p.267)。

いづれにしてもこの貴重な標本を御恵与下さった蜂谷氏に末筆ながら厚く御礼申しあげる。

(JULY. 1986)